

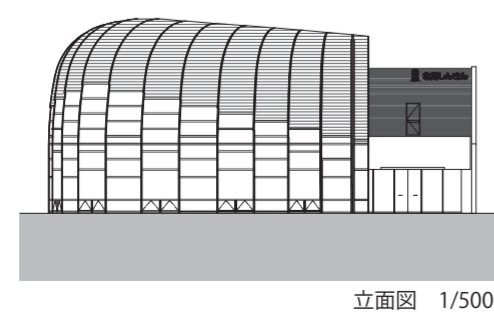
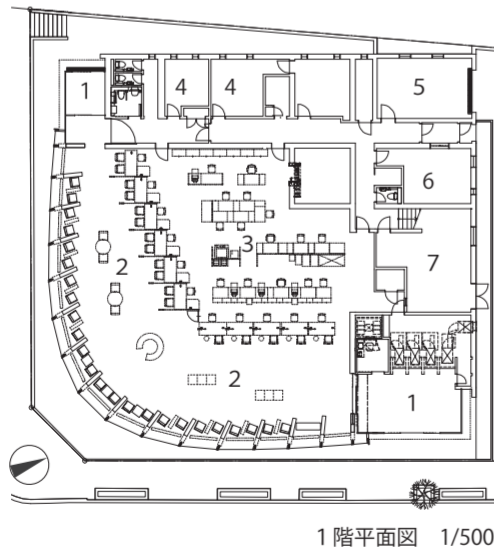
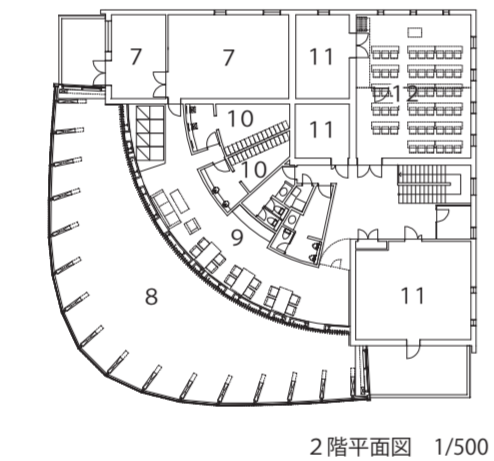
# 北見信用金庫紋別支店



北見信用金庫の中で西オホーツク地域の拠点店舗として位置付けられている北見信用金庫紋別支店の改築工事は、プロジェクトそのものが地域の産業に寄与すべく計画された。紋別市は「海のまち」として知られている一方、地域の大部分が森林であり、林業再生を先導している。このような背景から、地元材を含む道産材の活用による木構造に取り組んだ。

設計にあたっては、構造材、仕上材すべての木材を紋別地域を含む北海道産の材料を使い、地元工場での加工、地元の施工業者による施工など地元の技術を最大限に引き出す取り組みを行った。その地元の技術を象徴的にアピールするため、交差点に面して配置した扇状の待合ロビーを2層吹抜けの無柱空間とし、放射状に配置された大断面集成材の柱梁を現し、木に包まれた店舗を実現した。カラマツ集成材の構造材のほかに、階段手すりやルーバーにセンの無垢材を使い、カウンターなどの家具にも木をふんだんに使うなど、道産木の多様な魅力を感じられる空間とした。

構造は木-RC-鉄骨の3種類の材料特性を最大限に活用した『トライハイブリッド (TRI-HYBRID)』構造を採用し、木材の高い比強度などの良さを活かしつつ、耐震性能やクリーブなどの弱点をRC-鉄骨で補う適材適所の材料配置により、地元の業者でも施工可能な新しい構造架構空間を創出した。



- 1 風除室
- 2 待合
- 3 営業室
- 4 応接室
- 5 車庫
- 6 事務室
- 7 機械室
- 8 吹抜
- 9 休憩室
- 10 更衣室
- 11 収蔵庫
- 12 会議室

